

第1分科会 中同協

企業づくりと青年部活動

青年部活動と企業経営を不離一体として

—創業、後継、第二創業、次期後継の課題から学ぶ



コーディネーター

(株)イベント・トゥエンティ・ワン
代表取締役社長
中野 愛一郎 氏(奈良)



パネリスト

(有)日間賀観光ホテル
代表取締役
中山 幸彦 氏(愛知)



パネリスト

有希化学(株)
本間 英樹 氏(新潟)



パネリスト

ふじむら農園
代表
藤村 真哉 氏(岩手)



パネリスト

(株)BRAST
代表取締役
柏原 英輝 氏(千葉)

われわれ青年経営者はなぜ同友会で学びかつ青年部活動を行うのか?そもそも青年部活動の本質とは何か?そして青年部活動をやり切ると見えてくるものは何なのかを、創業者、事業継承し経営を実践している後継者、第二創業者、これから事業継承を受ける後継者の4人の青年経営者にそれぞれの視点から本気本音で語っていただきます。また青年部活動と企業経営は不離一体をテーマに参加者とともに学びあいます。

第2分科会 中同協

次代のリーダーへの期待

サラリーマンから中小企業家への歩み

—同友会運動と企業経営は不離一体



(株)紀之国屋

なかむら たかひろ

会長 中村 高明 氏

創 業 1933年2月6日
設 立 1977年8月10日
資 本 金 4,000万円
年 商 24億円
社 員 数 277名
事業内容 機械器具・工具販売・金属加工・省力機器設計
U R L <http://www.kinokuni-ya.ne.jp>

2020ビジョンに「学びを経営実践し、市場と雇用を創造して、社員が輝く企業をつくらう」と掲げています。

中村氏より、人間尊重の経営や同友会の理念、人としてのあり方を学び、同友会とともに自社を発展させてきたこと、同友会運動と企業経営を不離一体として取り組んできた実践を報告いただきます。この分科会では青年経営者・リーダーの役割や使命について学びあいます。

第3分科会 東京

経営者の全人格的成長

あなたはよい経営者ですか?

—社員のロールモデルへの挑戦



(株)S-TEKT

しみず たかひろ

代表取締役 清水 孝弘 氏

設 立 1993年
資 本 金 2,000万円
年 商 2億6,000万円
社 員 数 30名(内パート・アルバイト3名)
事業内容 セキュリティ、電気工事
U R L <http://www.s-tekt.com/>

自分はよい経営者になれるのか?養護施設出身の自分だからこそ、施設出身者、外国人などの多様な社員にとって、指導者ではなくひとつのロールモデルとなれないかと模索する日々。完璧にはなれない自分が、どう三方良しで会社を成長させていけるのか。「伝える」から「伝わる」へ。そのように清水社長を成長させてくれたのは、青年部活動でした。経営の学びの場である青年部で、どのように成長していったのか。完璧ではないからこそその覚悟と社員への想いがあった全人格的成長という様々な意味を持つこの言葉の本当の意味と意義に迫り、学びあいます。

第4分科会 愛知

人を生かす経営の実践

永続“輝”業へ

—時代を勝ち抜くための企業力とは?



(株)創円

はっとり たいし

代表取締役 服部 太志 氏

設 立 2007年
資 本 金 1,000万円
年 商 4億5,000万円
社 員 数 43名(内パート・アルバイト16名)
事業内容 厨房機器、ガス機器の精密板金加工・組立
U R L <http://www.k-souen.co.jp/>

「モウクニニカエリタイ」「どうせ教えても・・・」外国人研修生と社員さんから出てきた本音の言葉。こんな会社じゃダメだ!一人一人が輝く企業にしたい!太志を胸に、同友会での学びと思直な実践を繰り返し、内部環境に着目し、かかわりを大切にする事で着実に改善させてきました。中小企業だからこそできる企業力に気づき、今なお進化の過程にいます。そして、次は外部環境の打破へ。そんな服部氏の現在進行形の実践報告と討論を通じて、永続輝業へと歩みを進めるきっかけを学びあい、人を生かす経営の実践を深めます。

第5分科会 群馬

経営指針の実践

情熱だけで人は動かない!

—エネルギーを無駄なく推進力に換えるには



(株)プランニング

まちだ ひでゆき

代表取締役 町田 英之 氏

設 立 1981年
資 本 金 2,000万円
年 商 3億2,000万円
社 員 数 38名(内パート・アルバイト3名)
事業内容 システムのソフトウェア開発
U R L <http://www.pri.co.jp/>

常務時代に実施した社員の意識調査では「転職を考えている」「将来が見えない」など惨憺たる結果でした…。

代表就任後は自分が今まで感じてきた会社への不満や疑問を払拭すべく「努力が報われる会社」にすることを決意。精神論に頼らない論理的道筋を加えた経営指針書の作成と実行で会社を変貌させ、6年で自己資本比率を30%向上!同時に生産性や社員満足度も高めた実践報告から、経営指針の理解を深めます。

第6分科会

沖縄

社員が輝く企業づくり

経営者としての覚悟、社員共育で見てきた光

—私を変えたひとつのきっかけ



(株)琉球補聴器
もりやま けん
代表取締役 森山 賢氏

設立 1987年11月12日
資本金 1,600万円
年商 5億円
社員数 31名(内パート・アルバイト6名)
事業内容 補聴器販売、メンテナンス、修理
U R L <http://www.ryukyu-hochoki.com/>

森山氏は先代である父親とは合わず、県外の大学に行きそのまま就職しました。沖縄には帰らないと決めたものの、母親が亡くなったことをきっかけに後継者として入社。しかし父親との関係や社員の定着率や専門性、コミュニケーション不足など課題は山積でした。そこで社員との宿泊研修を実施。社員が本音で語ってくれたことに感謝するとともに、自分の思いが伝わっていないことに気づき一念発起します。社員と徹底的に話し合い、社内改革を進める実践報告から、社員が輝く企業づくりを学びあいます。

第7分科会

熊本

社員が輝く企業づくり

選ばれ、働きたい企業へ

—社員と共に育む企業文化への挑戦



(株)九州永田
さかべ たつや
代表取締役社長 坂部 龍也氏

設立 1985年
資本金 1,000万円
年商 2億5,000万円
社員数 11名(内パート・アルバイト2名)
事業内容 農業機械・資材卸売業
U R L <http://www.kyushu-nagata.com>

22歳の時に父が創業した(株)九州永田に入社。その後、同友会に入会し36歳の時に事業承継。経営指針書を作成するも、周りからの反対や自分の至らなさに気づき社内発表会前日に破り捨てたことも。そんな中でも、共同求人や社員共育にも挑戦し続け様々な失敗を経験する中で深まってきた自身の理念。そこから変わってきた社風。現在も「社員と共に育む企業」を目指して、さまざまな取り組みに挑戦しています。今までの紆余曲折、これから取り組もうとしていることをリアルな体験談とともに報告します。

第8分科会

兵庫

付加価値を高める

「僕の好きなもの」で市場をつくる

—こだわりの先に見えた高付加価値戦略



(株)ウィード
もりもと みつり
代表取締役 森本 光則氏

創業 2001年
設立 2010年
資本金 1,000万円
年商 14億5,000万円
社員数 30名
事業内容 自動車販売・修理等
U R L <http://www.weed10.com>

未経験から自動車販売に参入し、資金もない中、訳アリ社長と訳アリ社員が数々の失敗を重ねてたどり着いた「日本一高いカスタム中古車販売」。売るものを絞り、「Weed」ブランドを愛してくれるお客様に出会うための戦略が成功し、今では地域、業界から注目される企業に成長。森本氏の乗り越えてきた数々の困難と挑戦を通じて、経営者がやるべきこと、何に集中すべきかを学びあいます。

第9分科会

栃木

市場と雇用の創造

家業から企業へ

—成熟市場でも成長し続ける!



(株)イシカワ
いしかわ だいき
代表取締役 石川 大樹氏

設立 1989年
資本金 300万円
年商 2億円
社員数 70名(内パート・アルバイト62名)
事業内容 ダスキン、クリクラの加盟店

先代から経営を引き継いだものの、社屋、器材、保険などすべてないづくしに加え、商圏も県内有数の過疎地域というかなりの逆境の中がありました。しかし、新事業の導入やM&Aによる商圏の拡大などを進めることで経営が安定してきます。

社員には自分が幼少期に経験した貧しい思いはさせないよう、これからも成長し続ける会社にしていきたいと語る石川氏の実践報告から市場と雇用の創造について考えます。

第10分科会

埼玉

変革と挑戦(女性経営者)

未来のために今何をするか?

—私たちが考え、実践していくこれからの企業づくり



コーディネーター すみえ社会保険労務士事務所
うかじ すみえ
代表 宇梶 純江氏

設立 2011年
年商 2,000万円
社員数 4名(内パート・アルバイト3名)
U R L <http://www.sumie-sr.com/>



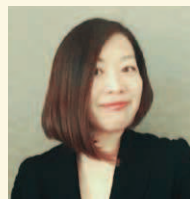
パネリスト (株)grain grain
すずき みお
代表取締役 鈴木 美緒氏

設立 2013年 資本金 100万円
年商 7,558.9万円
社員数 30名(内パート・アルバイト25名)
事業内容 介護・保育事業・カフェ
U R L <http://grain-grain.net/>



パネリスト (株)インフォームド・コンセント
かねこ まり
代表取締役 金子 麻里氏

設立 2009年 資本金 100万円
年商 7,623万円 社員数 2名
事業内容 住宅のリフォーム全般、水周り工事
U R L <http://www.e-furo.com>



パネリスト (株)ノワテック
みずかみ まき
常務取締役 水上 真紀氏

設立 1983年 資本金 2,000万円
年商 9億円
社員数 35名
事業内容 自動制御設備工事、電気設備工事
U R L <http://www.nowa-tec.jp/>

創業して雇用し、子供を育てながら経営する悩みに向き合い、それでも結果を出し続けること。経営者としての生き様や覚悟、そして経営姿勢がそこにはあります。同友会での学びを通して変革の必要性に気づき挑戦したパネリスト3名から、女性目線だからこそ気づける人を生かすことやいろいろな立場・価値観を理解した上で環境を整えるバランス感覚などの実践報告をいただきます。これからの時代に必要な経営のヒントを学ぶとともに、変革と挑戦の重要性について深め合います。

第11分科会

大阪

変革と挑戦 (創業者)

輝きつづける会社を目指して

—理念実践で気づけた大切なもの



(株)ユニオン環境
つじの まこと
代表取締役 **辻野 誠氏**

設立 2011年
資本金 500万円
年商 9,000万円
社員数 8名
事業内容 高圧洗浄業務、リフォーム
U R L <http://unionzone.jp/>

高校卒業後、父親が経営する会社に入社するも、その後事業の方向性の違いから分社独立し、現在のユニオン環境を設立しました。ユニオン(Union)とは「一致団結」を意味しています。「経営理念と向き合うことで父との確執がほどけ、社員と共に本来の目指すべきビジョンを掲げることができた」と語る辻野氏。たくさんの課題に直面しながら、社員全員でビジョンをつくり上げ、輝きつづける会社を目指した取り組みから、経営者の変革と挑戦について学びがあります。

第12分科会

岡山

変革と挑戦 (後継者)

話し下手でも組織を変えられる

—可能性を伝えられていますか？



(株)サクラ保険事務所
かたおか たけお
部長代理 **片岡 健夫氏**

設立 1992年
資本金 1,000万円
年商 1億円
社員数 10名
事業内容 企業保険を活用した財務対策
U R L <http://www.sakura-life.co.jp>

人と話すのが苦手で、目の前の課題に気づいても逃げていた片岡氏。しかし、ある出来事をきっかけに「逃げてはいけない！立ち向かおう！」と決意し、不器用ながらも地道にコツコツ取り組んだ結果、組織が変革していきます。

「リーダーは十人十色で、自分なりのやり方がきつとある。まずは可能性に気づくことが重要」と話す片岡氏。組織を変えるために何が必要なのかを学びます。

第13分科会

京都

事業承継

自分らしい理想の会社へ

—強い信念と社員とともに



(株)京富士印刷
たかばたけ まこと
代表取締役 **高島 誠氏**

創業 1960年
設立 1984年
資本金 1,000万円
年商 2億5,000万円
社員数 12名
事業内容 書籍印刷製本及び一般事務用品印刷加工、包装材料の販売
U R L <http://www.kyofuji.co.jp>

「トップダウン経営からの脱却へ!」、2年後に事業承継を控え、高島氏が最初に取り掛かったのは経営理念・経営指針の作成でした。先代とは違う会社づくり、それは社員が自発的に行動し成長する会社。そのために理念の浸透を試みたが、社員はまったく無関心だった…。古参社員との軋轢、頼りにしていた社員の退職など多くの問題に直面します。後継者として悩み、それでも諦めず学びと実践を繰り返しながら、自身が目指す理想の会社への想いと覚悟を熱く報告します。

第14分科会

奈良

事業承継

幸せ起点の事業承継

—あなたはそのとき、何を大切にしますか？



ライフラインサービス(株)
よも みつる
代表取締役社長 **四方 充氏**

創業 1975年
設立 2016年
資本金 300万円
年商 5,850万円
社員数 7名(内パート・アルバイト3名)
事業内容 住宅/店舗設備の設計施工
U R L <http://lifeline-nara.com/>

大企業の一社員だった頃、働く意味を求めて、家業を継ぐ選択をします。同時に同友会へ入会し、自分と向き合い、父が大切にしてきたことや自分がめざす企業とは何なのかを自問自答します。そして、家族、社員、お客様、自社にかかわる全ての人々を幸せにするために事業承継をすることを決意します。父の地域を愛する姿勢を継ぎ、社員もいきいきと働ける会社をつくることを、現在進行形で自社を変化させている後継者の実践から学びます。

第15分科会

広島

事業承継

承継と思い描く未来への挑戦

—父とのビジョンの違いから始まった企業づくり



(株)モンテドール
すぎた まさゆき
代表取締役 **杉田 雅之氏**

設立 2005年
資本金 1,000万円
年商 1億7,000万円
社員数 26名(内パート・アルバイト11名)
事業内容 洋菓子・パンの製造小売り及び飲食
U R L <http://www.montedoll.jp>

杉田氏は祖父が創業した洋菓子店の3代目。4年間の修行を経て父のお店に入ります。しかし個人商店の父と意見が合わず、父の反対を押し切りながらも、様々な取り組みを行いました。年商300万円の個人商店を企業化し、自分の力で会社を成長させたつもりでした。しかし、その傍らにはいつも父親の支えがあったことに気づきます。何のために承継をし、そのために後継者にとって必要なことは何か、杉田氏の報告から学び、事業承継を通して気づいた様々な課題について考えます。

第16分科会

茨城

人を生かす経営の実践 (見学)

社員こそがビジョンと理念の体現者

定員40名

—しあわせを感じる人づくりの極意



水戸ヤクルト販売(株)
ないう まなぶ
代表取締役社長 **内藤 学氏**

設立 1967年
資本金 3,000万円
年商 45億
社員数 120名(ヤクルトレディ 約600名)
事業内容 主にヤクルト製品の販売
U R L <https://mito-yakult.co.jp/>

売上経営からビジョン経営へと転換し、社員とともに、ビジョンと理念の共有と実践を徹底的に追求することで、全国103の販売会社規模別のヤクルト乳製品の伸長率で5年連続1位を継続している水戸ヤクルト販売。「企業の永続的経営には人づくりしかない。一人ひとりの人生観を引きだし、会社のビジョンと理念とのギャップを埋め、同じベクトルで成長し続けることこそ社長の使命」と語る内藤氏から、人づくりの極意について学びます。

※申込締切7月31日 希望者多数の場合は人員調整させていただきます。